

栗中だより

全国学力調査結果分析から

2017.11.1 発行



4月に行われた「平成29年度全国学力・学習状況調査」の本校結果についてお知らせをいたします。調査のねらいを踏まえ、子どもたち一人ひとりが「わかる喜び」や「学ぶ楽しさ」を感じることでできる授業となるよう、今後も改善に努めてまいります。ご家庭でも、ご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

本調査により測定できるのは、学力の特定の一部や学校における教育活動の一側面です。

分析結果の表記について

- ・「さらに伸ばしたい部分」：概ね県平均を上回る部分をさらに伸ばすための取組
- ・「課題として取り組む部分」：県平均を下回る結果についての改善策

教科に関する結果から

A問題…主に「知識」が身についているかを見ようとする問題

B問題…学んだ知識を「活用」する力が備わっているかを見ようとする問題

『国語』について

さらに伸ばしたい部分	課題として取り組む部分
<p>○A問題では、特に「漢字の読み書き」が昨年度より引き続き良好な結果が得られました。</p> <p>➡ 今後も年4回の漢字テスト、毎回の授業での漢字学習を継続し、定着を図ります。</p> <p>○B問題の、「書く」項目は、県平均を上回り、無解答率も低くなっています。「書く」ことへの抵抗感が少なくなっています。</p> <p>➡ テストで考えを二百字程度でまとめる「記述式活用問題」をより一層充実させていくとともに、朝学習の「KAKOSSA」を生かしていきます。</p>	<p>△「敬語・慣用句」「古典の種類」を問われる問題において県平均を大きく下回る問題がありました。</p> <p>➡ 生活の場面で用いるため、「日めくり言葉集」「古典音読・暗唱ノート」や「国語便覧」を常時活用していきます。</p> <p>△設問中の複数の条件を的確に捉えたり、見出しやテキストを的確に把握したりする力に依然として課題が見られます。 (例…国語A 5の問1)</p> <p>➡ 文言に注意し精読する練習を取り入れます。また、学校図書館の利用促進、授業では読んだ本を紹介する機会を設けていきます。</p>

- 4 具体的に取り組みたいことをその間に書いています。
- 3 始めと終わりに全体を通して目標を示し、
- 2 全体を通して目標は示さずに書いています。
- 1 始めに具体的に取り組みたいことを二つ書き、
- 最後に目標をまとめて書いています。
- 具体的に取り組みたいことを二つ書き、
- 始めに目標を示し、次に具体的に取り組みたいこと
- について並べて書いています。
- 始めと終わりに全体を通して目標を示し、
- 具体的に取り組みたいことをその間に書いています。

【下書き】

生徒会だより 第一中学校生徒会

〈生徒会長候補〉

2年1組 池田 一郎

〈立候補者から〉

生徒が生き生きと活躍できる学校にします！

- 意見箱の活用
生徒会の意見箱に入れられた提案などは、その内容を皆さんに伝え、全校生徒で考えます。
- 生徒会だよりの活用
皆さんががんばっている様子を生徒会だよりで紹介し、第一中学校の生徒のよさを学校全体に広めます。

〈推薦者から〉

池田さんは、地道に努力する人です。所属するサッカー部では、いつも他の人より先にグラウンドに行き、一生懸命に基礎的な練習をしています。

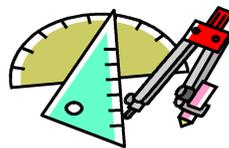
また、周りの人たちのことを考えて行動する人です。

池田さんは、第一中学校の生徒会長としてふさわしい人だと思います。

(2年1組 林 花子)

5 次は、第一中学校の生徒会役員選挙を特集した生徒会だよりの「下書き」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

『数学』について



さらに伸ばしたい部分	課題として取り組む部分
<p>○ A問題では、「計算問題」において、ほとんどの問題で県平均を上回っています。</p> <p>➡ 今後も計算コンテストへの組織的な取組や日頃の小プリント学習を継続して、基礎基本を確実に定着させます。</p>	<p>△具体的な事象から、方程式を立てる問題や関数と結びつけて考える問題で、県平均を下回りました。</p> <p>➡ グループ学習を利用して、論理的な見方や考え方を育みます。また、図や表の良さや便利さを繰り返し伝え初めて出会う問題への対応力をつけます。</p>
<p>○ B問題では、1年生の後半に学ぶ「資料の活用や図形」で県平均を上回っています。</p> <p>➡ 苦手とする分野については、学年を越えて定期的・継続的に取り上げてきたことが、結果につながりました。</p>	<p>△「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えている」生徒が半数を下回っています。</p> <p>➡ 身近な事と関連づけた問題を、授業や定期テストでも取り入れていきます。授業では、普段の生活にある数学にスポットをあて、問題解決力を図ります。</p>

【課題として取り組む部分】の問題例
方程式を立式する問題

数学 A 折り紙を何人かの生徒に配るのに、1人に6枚ずつ配ると16枚余ります。また、1人に8枚ずつ配ると4枚たりません。生徒の人数を求めるために、生徒の人数をx人として、方程式をつくりなさい。ただし、つくった方程式を解く必要はありません。

具体的な手立て

「余る」、「足りない」の言葉をもとに、過不足が分かるような図を作ることを意識させます。

関数と結びつけて考える問題

数学 A 次の図は、長さ12cmの線香が燃え始めてからの時間と、線香の長さの関係を表したグラフです。線香が燃え始めてから2cm燃えるのにかかった時間を、下のアからオまでの中から1つ選びなさい。
(ア 1分 イ 2分 ウ 4分 エ 11分 オ 20分)

具体的な手立て

グラフから状態を読み取ることができるように、軸に書かれる単位に注目し、「12cm燃やすのに、24分かかる」といった言葉にするように指導します。

生徒質問紙の結果から

さらに伸ばしたい部分	課題として取り組む部分
<p>○学校の規則や友達との約束を守っており、いじめはどんな理由でもいけないことだと感じている生徒が多く見られます。(資料①参照)</p> <p>➡ 学年一斉道徳や人権集会を通して人を思いやる気持ちや規範意識をさらに育てていきます。縦割り活動を生かした行事は今後も継続していきます。</p>	<p>△学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることを難しいと感じている生徒が多くいます。(栗野中学校区共通課題)</p> <p>➡ ノートにまとめ、発表する活動を進めます。授業では、いろんな考え方が見つかる問題を出して、意見交換をする中で、理由を基に説明する経験を多く積んでいきます。</p>

資料① 質問(51)学校の規則を守っていますか。

